2026年９月期　決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社コナカ　　上場取引所　東
コード番号　　7494　　ＵＲＬ　https://www.konaka.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長CEOグループ代表　　（氏名）湖中　謙介
問合せ先責任者　（役職名）取締役常務執行役員CFO管理本部長　（氏名）湖中　龍介　　ＴＥＬ　045（825）7700

定時株主総会開催予定日　2026年12月23日　　配当支払開始予定日　－
有価証券報告書提出予定日　2026年12月21日

決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2026年９月期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	51,175	△7.8	△944	－	△633	－	1,045	118.7
2025年９月期	55,487	△12.1	△766	－	△345	－	478	－

（注）包括利益　2026年９月期　△780百万円（－%）　2025年９月期　538百万円（－%）

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年９月期	31.00	－	6.5	△1.7	△1.8
2025年９月期	14.23	－	2.9	△0.8	△1.4

（参考）持分法投資損益　2026年９月期　△10百万円　2025年９月期　8百万円

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	34,546	15,546	45.0	460.15
2025年９月期	42,274	16,634	39.3	494.10

（参考）自己資本　2026年９月期　15,546百万円　2025年９月期　16,634百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	515	3,681	△4,549	2,858
2025年９月期	1,216	1,033	△1,238	3,198

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	－	5.00	－	5.00	10.00	336	70.3	2.0
2026年９月期	－	5.00	－	0.00	5.00	168	16.1	1.0
2027年９月期（予想）	－	5.00	－	5.00	10.00		309.6	

（注）2025年９月期第２四半期及び期末の配当原資には、資本剰余金が含まれております。詳細は、後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

３．2027年９月期の連結業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	29,294	△3.2	2,189	132.8	2,267	93.7	1,520	△52.5	44.99
通期	50,904	△0.5	907	－	1,097	－	109	△89.6	3.23

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更：有

新規　－社

除外　2社（社名）Samantha Thavasa Shanghai Trading Limited、Samantha Thavasa Singapore Pte.Ltd.

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：有

④　修正再表示　：無

（注）詳細は、添付資料P13「３．連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更）」をご覧ください。

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	35,322,490株	2025年９月期	35,322,490株
②　期末自己株式数	2026年９月期	1,536,606株	2025年９月期	1,656,601株
③　期中平均株式数	2026年９月期	33,739,834株	2025年９月期	33,613,096株

（参考）個別業績の概要

１．2026年９月期の個別業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）個別経営成績　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	35,386	△2.7	△260	－	△832	－	1,198	174.5
2025年９月期	36,357	△3.0	228	－	△906	－	436	－

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年９月期	35.51	－
2025年９月期	12.98	－

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	26,907	14,695	54.5	434.95
2025年９月期	33,006	15,795	47.9	469.18

（参考）自己資本　2026年９月期　14,695百万円　2025年９月期　15,795百万円

２．2027年９月期の個別業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	21,601	△0.2	1,935	45.4	2,201	101.3	1,701	△48.8	50.35
通期	36,166	2.2	586	－	877	－	177	△85.2	5.24

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述について）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「１．経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算説明会資料について）

当社は、機関投資家・アナリスト向け決算説明会の開催を予定しており、この決算説明会で配布する資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2025年９月期第２四半期及び期末の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	第２四半期末	期末	合計
１株当たり配当金	5円00銭	5円00銭	10円00銭
配当金総額	168百万円	168百万円	336百万円

（注）純資産減少割合　0.005（小数点以下第3位未満切上げ）

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 2
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 3
（５）継続企業の前提に関する重要事象等 …… 4
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 4
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）連結貸借対照表 …… 5
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 7
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 9
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 11
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 13
（継続企業の前提に関する注記） …… 13
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更） …… 13
（会計上の見積りの変更に関する注記） …… 13
（追加情報に関する注記） …… 14
（セグメント情報等の注記） …… 15
（１株当たり情報の注記） …… 17
（重要な後発事象の注記） …… 17
４．個別財務諸表及び主な注記 …… 18
（１）貸借対照表 …… 18
（２）損益計算書 …… 20
（３）株主資本等変動計算書 …… 21
（４）個別財務諸表に関する注記事項 …… 24
（会計上の見積りの変更） …… 23
（重要な後発事象） …… 23

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調にあり、個人消費にも一部持ち直しの動きがみられました。一方、物価上昇の長期化や為替相場の変動、中東情勢の緊迫化、自然災害による経済活動への影響などから、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、主力となるファッション事業においては、持続的な成長に向けた事業基盤の整備として、店舗網の再編を進めるとともに、新業態への先行投資を実施しました。「コナカ・フタタ」では、契約満了による退店や近隣店舗との統廃合による店舗網の適正化を進めました。「SUIT SELECT」では、成人式・フレッシャーズ商戦において販促を前倒しで展開するとともに、人気商品の『WIDE PANTS SUIT』やレディスアイテムのラインアップを拡充し、売上の拡大につなげました。オーダー専業の「DIFFERENCE」では、メンズ・レディスともにジャケット、ボトムス及びコートの新たなパターンを展開し、多様化するお客様のニーズに応え、ご好評をいただきました。また、AIやデジタル技術を活用した次世代型オーダースーツブランド「FUTURE SUIT TECHNOLOGY」の出店を拡大し、従来接点の少なかった地域及び顧客層へのアプローチを強化しました。サマンサタバサグループでは、不採算店舗の撤退や店舗・ブランドの再編、経費削減を進め、構造改革を着実に実行することで収益基盤の改善を図りました。

この結果、店舗運営の効率化や新商品・新業態による新たな需要の取り込みを進めた一方、地震や豪雨・台風などの自然災害に加え、記録的な長雨や気温変動などの天候不順の影響により、夏物商品の販売が伸び悩み、来店客数の伸びも限定的となりました。さらに、店舗数の減少も影響し、ファッション事業の売上高は479億77百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

フードサービス事業につきましては、各種フェアや期間限定メニューにより堅調に推移したものの、一部の業態において客数が伸び悩んだことから、売上高は21億50百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

教育事業につきましては、利用者数の増加や料金改定などが寄与し、売上高は10億47百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

グループの店舗数につきましては、サマンサタバサグループを含め、合計42店舗を新規に出店する一方、124店舗を退店し、当社が390店舗、グループ全体で525店舗となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は511億75百万円（前年同期比7.8%減）、営業損失は9億44百万円（前年同期は営業損失7億66百万円）、経常損失は6億33百万円（前年同期は経常損失3億45百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は10億45百万円（前年同期比118.7%増）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

①　資産

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ77億27百万円減少し345億46百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ32億80百万円減少し152億90百万円となりました。これは主に商品及び製品が21億23百万円、前渡金が4億76百万円、現金及び預金が3億40百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ44億47百万円減少し192億56百万円となりました。これは主に投資有価証券の売却等により投資その他の資産が36億98百万円、固定資産の売却や減損損失の計上等により有形固定資産が9億円減少したことによるものであります。

②　負債

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ66億39百万円減少し190億円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ56億86百万円減少し142億98百万円となりました。これは主に借入金の返済により短期借入金が33億51百万円、電子記録債務が18億44百万円減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比べ9億52百万円減少し47億1百万円となりました。これは主に長期借入金から１年内返済予定の長期借入金へ6億56百万円振替えたことによるものであります。

③　純資産

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億87百万円減少し155億46百万円となりました。これは主に利益剰余金が8億77百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が19億90百万円減少したことによるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、28億58百万円と前連結会計年度と比べ3億40百万円減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は5億15百万円（前年同期は12億16百万円の獲得）となりました。これは主に固定資産売却益7億65百万円、投資有価証券売却益26億26百万円及び仕入債務の減少18億49百万円の計上がありましたが、棚卸資産の減少21億27百万円、減損損失6億14百万円及び税金等調整前当期純利益20億91百万円の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は36億81百万円（前年同期は10億33百万円の獲得）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出8億99百万円がありましたが、有形固定資産の売却による収入16億65百万円、敷金及び保証金の回収による収入9億31百万円及び投資有価証券の売却による収入28億9百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は45億49百万円（前年同期は12億38百万円の使用）となりました。これは主に短期借入金の純減額33億51百万円及び長期借入金の返済による支出8億56百万円によるものであります。

（４）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界各地における紛争や為替相場の変動、長引くインフレ、自然災害等の不確実性が、経済活動や個人消費に及ぼす影響を注視する必要があります。また、当社グループの主力であるビジネスウェア市場においては、ビジネスカジュアルの浸透や異業種からの参入などにより、競争環境は一段と厳しさを増しております。

こうした環境のもと、当社グループでは、店舗網の見直しや新業態への投資を通じて構築した経営基盤を有効に活用し、各施策の成果を着実に業績へ反映させていくことに注力してまいります。あわせて、DXの活用による業務の効率化や既存業務の抜本的な見直しを進め、従業員一人当たりの生産性向上とコスト構造の改善を図ってまいります。また、当社グループが有するSPA（製造小売）の強みを最大限に発揮し、原材料価格の変動を踏まえた商品構成や価格政策の見直しなど、商品政策の一層の充実を通じて利益率の改善を目指すとともに、中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

（５）継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当連結会計年度において、親会社株主に帰属する当期純利益は10億45百万円を確保したものの、営業損失及び経常損失の計上が継続いたしました。また、当連結会計年度末時点の流動比率は106.9%と一定の手元資金を維持しているものの、財務制限条項に抵触した金融機関借入金が存在しております。このような状況を踏まえ、当連結会計年度において継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。当社グループは、当該状況の解消又は改善を図るべく、以下のとおり、業績の回復及び安定化に向けた施策を講じるとともに、財務基盤の改善に取り組んでまいります。

① ファッション事業の収益の拡大

当社においては、店舗網の再編や新業態への先行投資の成果を最大限に活用するとともに、DXの推進や業務プロセスの見直しによって従業員一人当たりの生産性向上を進めてまいります。また、当社グループの強みであるSPA（製造小売）を活かし、原材料価格高騰への対応をはじめとする商品政策の高度化により収益力の向上を高め、持続的な成長に取り組んでまいります。加えて、サマンサタバサグループでは、不採算店舗の撤退や店舗・ブランドの再編、経費削減などの構造改革を着実に実行することで収益基盤を改善し、グループ全体の効率化と収益力の向上に努めてまいります。

② 財務基盤の改善

資金面では当社及び子会社において資金繰りの検討を行い、手元資金を充実させるべく、保有資産の売却等あらゆる施策を実施し、財務体質の強化を図ってまいります。また、取引金融機関と定期的に協議を行い、良好な関係の維持に努めております。

しかしながら、これらの取り組みは現在進めている段階にあるため、今後の市場環境の変化などによっては、当初の計画どおりに収益の改善が進まないことも考えられます。また、計画の進捗状況次第では、取引金融機関からの継続的な支援に影響が生じ、当社グループの資金繰りに懸念が生じる可能性もあるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、このような継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を連結財務諸表には反映しておりません。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の諸情勢等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年９月30日）	当連結会計年度 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,203	2,863
売掛金	1,991	1,798
商品及び製品	11,047	8,924
仕掛品	0	2
原材料及び貯蔵品	448	445
預け金	569	455
前渡金	680	204
前払費用	453	406
その他	175	191
流動資産合計	18,570	15,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,012	18,645
減価償却累計額	△18,464	△16,216
建物及び構築物（純額）	2,547	2,428
機械装置及び運搬具	139	124
減価償却累計額	△123	△113
機械装置及び運搬具（純額）	15	10
工具、器具及び備品	7,040	6,507
減価償却累計額	△6,891	△6,222
工具、器具及び備品（純額）	149	285
土地	6,735	5,826
リース資産	64	56
減価償却累計額	△41	△37
リース資産（純額）	22	19
建設仮勘定	7	8
有形固定資産合計	9,478	8,578
無形固定資産		
商標権	1	0
電話加入権	13	13
その他	458	610
無形固定資産合計	473	624
投資その他の資産		
投資有価証券	3,685	697
長期貸付金	307	233
敷金及び保証金	8,191	7,186
退職給付に係る資産	1,395	1,736
その他	186	202
貸倒引当金	△14	△2
投資その他の資産合計	13,751	10,052
固定資産合計	23,703	19,256
資産合計	42,274	34,546

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年９月30日）	当連結会計年度 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	912	922
電子記録債務	1,975	130
短期借入金	7,444	4,093
１年内返済予定の長期借入金	5,288	5,088
未払金	170	95
未払費用	2,110	1,923
未払法人税等	169	480
未払消費税等	247	237
契約負債	698	578
賞与引当金	277	221
資産除去債務	436	270
その他	254	256
流動負債合計	19,985	14,298
固定負債		
長期借入金	1,597	941
長期未払金	55	53
繰延税金負債	493	608
退職給付に係る負債	515	509
ポイント引当金	20	11
長期預り保証金	415	412
資産除去債務	2,527	2,144
その他	27	20
固定負債合計	5,654	4,701
負債合計	25,639	19,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	13,433	13,098
利益剰余金	3,359	4,236
自己株式	△2,711	△2,514
株主資本合計	14,181	14,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,993	3
為替換算調整勘定	△31	11
退職給付に係る調整累計額	490	611
その他の包括利益累計額合計	2,452	626
純資産合計	16,634	15,546
負債純資産合計	42,274	34,546

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

（連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
売上高	55,487	51,175
売上原価	22,167	20,402
売上総利益	33,319	30,773
販売費及び一般管理費	34,086	31,718
営業損失（△）	△766	△944
営業外収益		
受取利息	9	13
受取配当金	45	25
不動産賃貸料	439	383
為替差益	68	36
その他	217	175
営業外収益合計	779	633
営業外費用		
支払利息	203	201
不動産賃貸費用	85	69
その他	69	51
営業外費用合計	358	322
経常損失（△）	△345	△633
特別利益		
固定資産売却益	447	765
投資有価証券売却益	361	2,626
受取補償金	200	150
その他	－	1
特別利益合計	1,008	3,543
特別損失		
固定資産除却損	54	23
減損損失	694	614
店舗閉鎖損失	72	143
その他	16	37
特別損失合計	838	818
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	△175	2,091
法人税、住民税及び事業税	186	170
法人税等還付税額	△1	△1
法人税等調整額	△838	877
法人税等合計	△653	1,045
当期純利益	478	1,045
非支配株主に帰属する当期純利益	－	－
親会社株主に帰属する当期純利益	478	1,045

（連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
当期純利益	478	1,045
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△214	△1,990
為替換算調整勘定	△20	0
退職給付に係る調整額	300	121
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	42
その他の包括利益合計	59	△1,826
包括利益	538	△780
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	538	△780
非支配株主に係る包括利益	―	―

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,305	13,253	△1,778	△2,939	13,841
当期変動額					
資本金から剰余金への振替	△5,205	5,205			－
剰余金（その他資本剰余金）の配当		△168			△168
親会社株主に帰属する当期純利益			478		478
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△197		228	30
欠損填補		△4,659	4,659		－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					－
当期変動額合計	△5,205	180	5,138	227	340
当期末残高	100	13,433	3,359	△2,711	14,181

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,207	△4	190	2,393	16,234
当期変動額					
資本金から剰余金への振替				－	－
剰余金（その他資本剰余金）の配当				－	△168
親会社株主に帰属する当期純利益				－	478
自己株式の取得				－	△0
自己株式の処分				－	30
欠損填補				－	－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△214	△26	300	59	59
当期変動額合計	△214	△26	300	59	400
当期末残高	1,993	△31	490	2,452	16,634

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	13,433	3,359	△2,711	14,181
当期変動額					
剰余金の配当			△168		△168
剰余金（その他資本剰余金）の配当		△168			△168
親会社株主に帰属する当期純利益			1,045		1,045
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△167		198	30
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					－
当期変動額合計	－	△335	877	197	739
当期末残高	100	13,098	4,236	△2,514	14,920

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,993	△31	490	2,452	16,634
当期変動額					
剰余金の配当				－	△168
剰余金（その他資本剰余金）の配当				－	△168
親会社株主に帰属する当期純利益				－	1,045
自己株式の取得				－	△0
自己株式の処分				－	30
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,990	42	121	△1,826	△1,826
当期変動額合計	△1,990	42	121	△1,826	△1,087
当期末残高	3	11	611	626	15,546

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	△175	2,091
減価償却費	557	427
減損損失	694	614
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△58	△12
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△66	△5
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△7	△9
賞与引当金の増減額（△は減少）	6	△56
長期貸付金の家賃相殺額	62	52
敷金及び保証金の家賃相殺額	1	－
固定資産売却損益（△は益）	△441	△765
固定資産除却損	54	23
投資有価証券売却損益（△は益）	△361	△2,624
受取補償金	△200	△150
受取利息及び受取配当金	△55	△38
支払利息	203	201
為替差損益（△は益）	△3	△1
売上債権の増減額（△は増加）	226	196
棚卸資産の増減額（△は増加）	1,214	2,127
前渡金の増減額（△は増加）	131	469
仕入債務の増減額（△は減少）	△339	△1,849
未払費用の増減額（△は減少）	19	△243
未払消費税等の増減額（△は減少）	23	△10
その他	△147	233
小計	1,340	670
利息及び配当金の受取額	52	35
利息の支払額	△206	△190
補償金の受取額	200	150
法人税等の支払額	△183	△176
法人税等の還付額	13	25
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,216	515
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△514	△899
有形固定資産の売却による収入	982	1,665
有形固定資産の除却による支出	△224	△332
無形固定資産の取得による支出	△208	△323
投資有価証券の売却による収入	537	2,809
敷金及び保証金の差入による支出	△98	△175
敷金及び保証金の回収による収入	553	931
貸付金の回収による収入	8	6
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,033	3,681

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△10	△3,351
長期借入金の返済による支出	△1,056	△856
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△167	△337
その他	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,238	△4,549
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	12
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,022	△340
現金及び現金同等物の期首残高	2,176	3,198
現金及び現金同等物の期末残高	3,198	2,858

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当社グループは、当連結会計年度において、親会社株主に帰属する当期純利益は10億45百万円を確保したものの、営業損失及び経常損失の計上が継続いたしました。また、当連結会計年度末時点の流動比率は106.9％と一定の手元資金を維持しているものの、財務制限条項に抵触した金融機関借入金が存在しております。このような状況を踏まえ、当連結会計年度において継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。当社グループは、当該状況の解消又は改善を図るべく、以下のとおり、業績の回復及び安定化に向けた施策を講じるとともに、財務基盤の改善に取り組んでまいります。

① ファッション事業の収益の拡大

当社においては、店舗網の再編や新業態への先行投資の成果を最大限に活用するとともに、DXの推進や業務プロセスの見直しによって従業員一人当たりの生産性向上を進めてまいります。また、当社グループの強みであるSPA（製造小売）を活かし、原材料価格高騰への対応をはじめとする商品政策の高度化により収益力の向上を高め、持続的な成長に取り組んでまいります。加えて、サマンサタバサグループでは、不採算店舗の撤退や店舗・ブランドの再編、経費削減などの構造改革を着実に実行することで収益基盤を改善し、グループ全体の効率化と収益力の向上に努めてまいります。

② 財務基盤の改善

資金面では当社及び子会社において資金繰りの検討を行い、手元資金を充実させるべく、保有資産の売却等あらゆる施策を実施し、財務体質の強化を図ってまいります。また、取引金融機関と定期的に協議を行い、良好な関係の維持に努めております。

しかしながら、これらの取り組みは現在進めている段階にあるため、今後の市場環境の変化などによっては、当初の計画どおりに収益の改善が進まないことも考えられます。また、計画の進捗状況次第では、取引金融機関からの継続的な支援に影響が生じ、当社グループの資金繰りに懸念が生じる可能性もあるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、このような継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を連結財務諸表には反映しておりません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

連結子会社であったSamantha Thavasa Shanghai Trading Limited及びSamantha Thavasa Singapore Pte.Ltd.は、清算結了により連結の範囲から除外しております。

（会計上の見積りの変更）

（資産除去債務の見積りの変更）

店舗等の不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の原状回復費用実績等の新たな情報の入手に伴い、原状回復費用及び使用見込期間に関して見積りの変更を行っております。この見積りの変更により、資産除去債務は71百万円減少しております。

なお、当該見積りの変更により、当連結会計年度の営業利益は103百万円、経常利益は101百万円、税金等調整前当期純利益は27百万円増加しております。

（追加情報）

（財務制限条項）

１．当社は、借入金2,849百万円について、シンジケートローン契約を締結しておりますが、当該契約には財務制限条項がついており、当該条項は以下のとおりであります。

(1) 各事業年度末日における連結損益計算書に記載される営業利益に一定の調整をした金額を計画値以上にすること

(2) 2026年９月期末日における連結貸借対照表に記載される純資産額を直前期の90%以上に維持すること

(3) 2026年９月期末日における単体の総借入額を運転資金の金額以下とすること

上記、財務制限条項は、株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドのシンジケートローン契約にも適用されます。

なお、当連結会計年度末において、当社は財務制限条項に抵触しておりますが、主要取引銀行と緊密な関係を維持し、定期的に建設的な協議をしていることから、今後も主要取引銀行より継続的な支援が得られるものと考えております。

２．当社の連結子会社である株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドの借入金4,432百万円については、シンジケートローン契約を締結しておりますが、当該契約には財務制限条項がついており、当該条項は以下のとおりであります。

・各事業年度末日におけるサマンサの連結損益計算書に記載される営業利益に一定の調整をした金額を計画値以上にすること

なお、2026年８月末日において、株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドは財務制限条項に抵触しておりますが、主要取引銀行と緊密な関係を維持し、定期的に建設的な協議をしていることから、今後も主要取引銀行より継続的な支援が得られるものと考えております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

１．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ファッション事業を中心としており、取扱商品・サービスについて包括的に戦略を構築しております。従って、取扱商品・サービス別にセグメントが構成されており、「ファッション事業」「フードサービス事業」「教育事業」の３つを報告セグメントとしております。なお、「ファッション事業」は、メンズ及びレディス並びに服飾雑貨等の企画・製造・販売、「フードサービス事業」は、かつや、からやま等の運営、「教育事業」は、Kids Duo及びKids Duo International等を運営しております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）1	連結財務諸表計上額（注）2
	ファッション	フードサービス	教育	合計		
売上高（注）3						
重 衣 料	22,463	－	－	22,463	－	22,463
中 衣 料	4,920	－	－	4,920	－	4,920
軽 衣 料	9,753	－	－	9,753	－	9,753
服飾雑貨	14,421	－	－	14,421	－	14,421
そ の 他	750	2,161	1,015	3,927		3,927
顧客との契約から生じる収益	52,310	2,161	1,015	55,487		55,487
その他の収益	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	52,310	2,161	1,015	55,487	－	55,487
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	52,310	2,161	1,015	55,487	－	55,487
セグメント利益又は損失（△）	△872	75	30	△766	－	△766
セグメント資産	35,763	765	259	36,788	5,485	42,274
その他の項目						
減価償却費	503	32	20	556	－	556
持分法適用会社への投資額	514	－	－	514	－	514
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	947	6	0	954	－	954

（注）１．セグメント資産の調整額5,485百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

２．セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業損失（△）と一致しております。

３．重 衣 料・・・スーツ・フォーマル・イージーオーダー・コート
中 衣 料・・・ジャケット・ボトムス・アウター
軽 衣 料・・・カジュアル・ワイシャツ・ネクタイ・アンダーウェア
服飾雑貨・・・シューズ・バッグ・ジュエリー・アクセサリー
そ の 他・・・サービスの提供等

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）1	連結財務諸表計上額（注）2
	ファッション	フードサービス	教育	合計		
売上高（注）3						
重 衣 料	21,588	－	－	21,588	－	21,588
中 衣 料	4,752	－	－	4,752	－	4,752
軽 衣 料	9,517	－	－	9,517	－	9,517
服飾雑貨	11,274	－	－	11,274	－	11,274
そ の 他	844	2,150	1,047	4,042	－	4,042
顧客との契約から生じる収益	47,977	2,150	1,047	51,175	－	51,175
その他の収益	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	47,977	2,150	1,047	51,175	－	51,175
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	47,977	2,150	1,047	51,175	－	51,175
セグメント利益又は損失（△）	△948	23	△19	△944	－	△944
セグメント資産	31,948	748	236	32,932	1,614	34,546
その他の項目						
減価償却費	498	42	19	560	－	560
持分法適用会社への投資額	524	－	－	524	－	524
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,168	54	1	1,223	－	1,223

（注）１．セグメント資産の調整額1,614百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
２．セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業損失（△）と一致しております。
３．重 衣 料・・・スーツ・フォーマル・イージーオーダー・コート
中 衣 料・・・ジャケット・ボトムス・アウター
軽 衣 料・・・カジュアル・ワイシャツ・ネクタイ・アンダーウェア
服飾雑貨・・・シューズ・バッグ・ジュエリー・アクセサリー
そ の 他・・・サービスの提供等

【関連情報】

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）及び当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

１．製品及びサービスごとの情報

「セグメント情報　３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報」をご参照ください。

２．地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90％を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90％を超えるため、記載を省略しております。

３．主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10％以上を占めるものはありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	合計
	ファッション	フード サービス	教育	計		
減損損失	691	－	3	694	－	694

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	合計
	ファッション	フード サービス	教育	計		
減損損失	606	－	7	614	－	614

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）及び当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）及び当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

該当事項はありません。

（１株当たり情報）

前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）		当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）	
１株当たり純資産額	494円10銭	１株当たり純資産額	460円15銭
１株当たり当期純利益	14円23銭	１株当たり当期純利益	31円00銭

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

２．１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	478	1,045
普通株主に帰属しない金額（百万円）	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	478	1,045
期中平均株式数（株）	33,613,096	33,739,834

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

４．個別財務諸表及び主な注記

（１）貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （2025年９月30日）	当事業年度 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,215	1,389
売掛金	1,304	1,277
商品及び製品	8,011	7,336
原材料及び貯蔵品	383	393
前渡金	637	166
前払費用	315	292
関係会社短期貸付金	306	185
その他	290	311
流動資産合計	13,464	11,353
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,691	1,653
構築物	67	55
工具、器具及び備品	123	214
土地	6,076	5,167
その他	29	27
有形固定資産合計	7,989	7,118
無形固定資産		
借地権	0	0
ソフトウエア	361	345
ソフトウエア仮勘定	82	246
無形固定資産合計	444	592
投資その他の資産		
投資有価証券	3,162	143
関係会社株式	235	235
長期貸付金	191	132
従業員に対する長期貸付金	0	－
関係会社長期貸付金	3,329	3,424
長期前払費用	22	66
敷金及び保証金	6,550	6,107
前払年金費用	711	860
その他	92	42
貸倒引当金	△3,187	△3,168
投資その他の資産合計	11,108	7,843
固定資産合計	19,542	15,554
資産合計	33,006	26,907

（単位：百万円）

	前事業年度 （2025年９月30日）	当事業年度 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形	0	－
電子記録債務	1,923	130
買掛金	470	532
短期借入金	6,255	2,913
１年内返済予定の長期借入金	627	627
未払金	160	87
未払費用	1,243	1,200
未払法人税等	150	456
契約負債	590	490
前受金	0	0
預り金	32	32
前受収益	69	67
賞与引当金	194	140
その他	445	374
流動負債合計	12,163	7,055
固定負債		
長期借入金	1,568	941
長期未払金	41	39
繰延税金負債	297	346
退職給付引当金	534	529
債務保証損失引当金	162	1,160
資産除去債務	1,999	1,736
長期預り保証金	411	382
その他	33	22
固定負債合計	5,048	5,157
負債合計	17,211	12,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金		
資本準備金	16	25
その他資本剰余金	15,961	15,617
資本剰余金合計	15,978	15,642
利益剰余金		
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金	231	129
繰越利益剰余金	205	1,336
利益剰余金合計	436	1,465
自己株式	△2,711	△2,514
株主資本合計	13,802	14,693
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,992	1
評価・換算差額等合計	1,992	1
純資産合計	15,795	14,695
負債純資産合計	33,006	26,907

（２）損益計算書

（単位：百万円）

	前事業年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当事業年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
売上高	36,357	35,386
売上原価		
商品期首棚卸高	8,231	8,011
当期商品仕入高	13,969	13,131
合計	22,200	21,142
商品期末棚卸高	8,011	7,336
商品売上原価	14,189	13,806
売上総利益	22,168	21,580
販売費及び一般管理費	21,940	21,841
営業利益又は営業損失（△）	228	△260
営業外収益		
受取利息	64	77
受取配当金	45	24
不動産賃貸料	411	361
貸倒引当金戻入額	130	19
その他	144	128
営業外収益合計	796	611
営業外費用		
支払利息	110	94
不動産賃貸費用	88	65
貸倒引当金繰入額	1,554	－
債務保証損失引当金繰入額	162	998
その他	17	25
営業外費用合計	1,932	1,182
経常損失（△）	△906	△832
特別利益		
固定資産売却益	438	765
投資有価証券売却益	361	2,626
受取補償金	200	150
特別利益合計	999	3,542
特別損失		
固定資産除却損	17	11
減損損失	267	406
店舗閉鎖損失	72	56
その他	9	1
特別損失合計	367	476
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（△）	△275	2,233
法人税、住民税及び事業税	148	142
法人税等調整額	△860	891
法人税等合計	△711	1,034
当期純利益	436	1,198

（３）株主資本等変動計算書

前事業年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
						圧縮記帳積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	5,305	15,797	－	15,797	370	235	△5,265	△4,659
当期変動額								
資本金から剰余金への振替	△5,205		5,205	5,205				－
準備金から剰余金への振替		△15,797	15,797	－	△370		370	－
欠損填補			△4,659	△4,659			4,659	4,659
圧縮記帳積立金の取崩				－		△4	4	－
剰余金（その他資本剰余金）の配当			△168	△168				－
資本準備金の積立		16	△16	－				－
当期純利益				－			436	436
自己株式の取得				－				－
自己株式の処分			△197	△197				－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				－				－
当期変動額合計	△5,205	△15,780	15,961	180	△370	△4	5,470	5,096
当期末残高	100	16	15,961	15,978	－	231	205	436

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△2,939	13,504	2,207	2,207	15,711
当期変動額					
資本金から剰余金への振替		－		－	－
準備金から剰余金への振替		－		－	－
欠損填補		－		－	－
圧縮記帳積立金の取崩		－		－	－
剰余金（その他資本剰余金）の配当		△168		－	△168
資本準備金の積立		－		－	－
当期純利益		436		－	436
自己株式の取得	△0	△0		－	△0
自己株式の処分	228	30		－	30
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		－	△214	△214	△214
当期変動額合計	227	298	△214	△214	84
当期末残高	△2,711	13,802	1,992	1,992	15,795

当事業年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					圧縮記帳積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	100	16	15,961	15,978	231	205	436
当期変動額							
圧縮記帳積立金の取崩				－	△101	101	－
剰余金の配当				－		△168	△168
剰余金（その他資本剰余金）の配当			△168	△168			－
資本準備金の積立		8	△8	－			－
当期純利益				－		1,198	1,198
自己株式の取得				－			－
自己株式の処分			△167	△167			－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				－			－
当期変動額合計	－	8	△343	△335	△101	1,130	1,029
当期末残高	100	25	15,617	15,642	129	1,336	1,465

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△2,711	13,802	1,992	1,992	15,795
当期変動額					
圧縮記帳積立金の取崩		－			－
剰余金の配当		△168			△168
剰余金（その他資本剰余金）の配当		△168			△168
資本準備金の積立		－			－
当期純利益		1,198			1,198
自己株式の取得	△0	△0			△0
自己株式の処分	198	30			30
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		－	△1,991	△1,991	△1,991
当期変動額合計	197	891	△1,991	△1,991	△1,100
当期末残高	△2,514	14,693	1	1	14,695

（４）個別財務諸表に関する注記

（会計上の見積りの変更）

（資産除去債務の見積りの変更）

店舗等の不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の原状回復費用実績等の新たな情報の入手に伴い、原状回復費用及び使用見込期間に関して見積りの変更を行っております。この見積りの変更により、資産除去債務は67百万円減少しております。なお、当該見積りの変更により、当事業年度の営業利益は66百万円、経常利益は64百万円、税引前当期純利益は37百万円増加しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。